

発行所 社会福祉法人 正心会

老人福祉施設 さぎそう園

〒666-0152 川西市丸山台3丁目5番地の6
TEL/072-794-7600(代) FAX/072-794-7573

総合福祉施設 ハビネス川西

〒666-0025 川西市加茂3丁目13番26号
TEL/072-755-1313(代) FAX/072-755-1314

ホームページアドレス: <http://www.seisin.or.jp>



平成29年5月
第52号

正心会

みちのり



編集部より

風が心地良い季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。さぎそう園、ハビネス川西の各施設では4月に例年通りお花見の行事を開催しました。職員の出し物、食事などを楽しんで頂きました。

今年は桜の頃にすっきりしないお天気が続きましたが、日差しのある気持ちの良い日にはご利用者と一緒に近くにある桜の見物に出かけたり、お部屋のベランダから桜を眺めて記念撮影をさせて頂きました。毎年恒例というものの、陽の光を浴びて薄いピンク色に開く美しい桜の花びらを見ると皆様の表情が明るくなり、春の風物詩を楽しんでおられました。

今後ご利用者の皆様に日々の生活を楽しく過ごしてもらえるよう努めて参ります。



お知らせ

ハピネス川西高齢者棟では、この度、入居者様が職員を呼び出す際に使用するナースコールシステムの入替え工事を行いました。1月から3月にかけての入替え作業中、ご利用者、ご家族の皆様にはご不便をおかけする場面もありましたが、皆様のご協力のもと無事にすべての工程が完了しました事を、感謝とともに改めてご報告させていただきます。

今回の入れ替えでは職員の携帯する端末がスマートフォン型となり、ご利用者とのやり取りがスムーズに行えるような機能が追加され、ご利用者からの呼び出し確認のしやすさや、ベッドに内蔵されたセンサーとの連動による見守りケアシステムの導入等も可能になりました。

今後もご利用者の皆様の安全を守るため、職員一同ケアの改善に努めていきたいと思っております。



職員が携帯するスマホ型ナースコール端末



職員の待機場所にある居室ボード

行事報告

さぎそう園デイサービス イチゴ狩り体験!

さぎそう園デイサービスでは恒例となったイチゴ狩りで猪名川町の『果楽土』へ。昼食後にもかかわらず、「50個位食べたよ～」とお腹をポンポンと叩いておられる方も!やはり採り立てのイチゴは格別だったでしょう♪



障がい者デイサービス 節分の豆まき!

節分には、皆さんで豆まきをしました。力を合わせて鬼退治!!

終わった後は鬼も交えて仲良くハイチーズ♪



こんにちは
作業所です

公共交通機関利用時のマナー向上について

作業所には、公共交通機関を使って通所されるご利用者も多く、一般の方と接する場面では特にマナーを守って頂けるよう継続して支援しております。

具体的には、朝礼・終礼の際に「順番を守って列に並ぶことの大切さ」「車内では大きな声で話さない」といった内容について、ご利用者の皆様にお伝えしてまいりました。

先日行った、川西バスターミナル付近での見守りでは、「順番を守る」意識が浸透しつつあるのか、概ね列を乱すことなく並んでおられました。支援者としてはホッとしましたが、これで気を緩めることなく、更なるマナー向上を目指して支援していきます。



ハピネス川西相談支援事業所から、 電話番号変更のお知らせ

相談支援専用ダイヤル：**072-755-3326** を開設しました。

FAX番号は変わらず、072-755-3323です。よろしくお願いします。

受付時間：月～金（祝日、年末年始〈12月30日～1月3日〉を除く）

8：45～17：30 担当 たかぎ 高木、あかぎ 赤木、かみぞの 神園

あなたの暮らし
応援します



相談支援事業所とは…

障がいを持った方とそのご家族が豊かな地域生活を営めるよう、様々な相談を承ります。

- ・福祉サービスを利用したい。
- ・グループホームについて知りたい。
- ・会社を辞めたが、これからどうしよう。
- ・就職して頑張りたい。 等

※なお、ハピネス川西作業所・サポートハピネス（移動支援事業）は変わらず、072-755-3320です。



軍装姿の旦那様

『夫とのおもいで』

今回はケアハウス入居者の堀内さんに過去のお話をお伺いしました。最初お部屋にお訪ねした際に「最近では北朝鮮も物騒だし、アメリカの大統領も変わったね～」とニュース映像を横目に話されていた堀内さんは、今年で101歳を迎えられました。まだまだお元気で時世の流れを気にされています。


 ハピネス川西
ケアハウス入居者
ほりうち
堀内ハル工様

私が生まれたのは大阪府の梅ヶ枝(うめがえ)という所でした。それから石橋、豊中に移り住み、北豊島小学校に6年間通い、その次に女学校に通っていたけれど個人的な都合で中退してしまいました。それから生計を立てるため宝塚歌劇の食堂で給仕をしていましたが、22歳で夫と出会い結婚してからは仕事を辞めました。

夫は職業軍人だった為忙しく、一緒に過ごせる時間があまりなかったのですが、戦争が激しくなった頃、満州に軍人として赴く事となってしまいました。その後、夫が戦地で亡くなった事を知ったのは友人からの手紙で、満州のノモンハンで1940年7月3日に戦死したとの事でした。軍人だったので私も覚悟はしていたけれど、結婚生活はほんの2、3年で、当時は悲しみより驚きのほうが大きかったです。夫とは手紙のやりとりはしていましたが、当時は検閲があり手紙の内容によってはスパイ容疑をかけられる為、あまり本当のことを伝えたりはできなかったようです。

その後、一人で生きていくために手に職をつけなくてはと思い、洋裁の学校に通いました。学校卒業後は、呉服屋さんからの依頼などをこなしながら母と一緒に暮らしていました。38歳くらいの頃にちょうど華道・茶道の先生をしている方で、着物を仕立てる事のできる人を探している方とお見合いのお話があり、周囲の強い勧めもありその方のもとへ嫁ぎました。口数の少ないおとなしい方でしたが、お弟子さん達に混ざって一緒に旅行などをさせてもらい楽しかったですよ。夫が当時の川西市役所の担当者様などに一生懸命働きかけて今の川西市の茶華道会創設に尽力したそうです。

今はもう当時の市役所の方達も夫も亡くなってしまいました。私自身これといって長寿の為にしている事などはないのですが、強いて挙げるとすれば食べ物でしょうか。あまり出来合いのものは食べず季節ごとの野菜や果物を食べるようにしています。今の一番の楽しみはお茶と生菓子を食べる時ですね。煎茶とお饅頭が一番おいしいです。

旦那様と茶華道の生徒さんたちと一緒に
中央が堀内さん

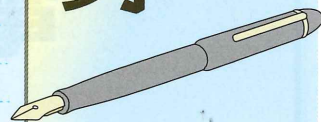
みちのり第51号(平成28年10月19日発行)私の見聞録の記事に誤りがありました。

(誤)奥村晃男(おくむら あきお)様 (正)奥村晃男(おくむら てるお)様

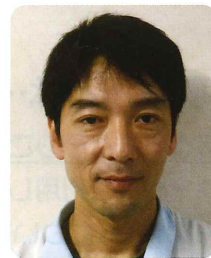
読者の皆様ならびに関係者の皆様にご迷惑をおかけしました事を深くお詫び申し上げます。

私

見聞録


 おたから
人財発掘

グラフィックデザイナーへの道


 さぎそう園
特養主事
千田 英晶さん

現在さぎそう園の特養で4年間働いておられる千田さんは、以前アートディレクターとして活躍されていました。その頃のお話を聞かせていただきました。

まず、グラフィックデザイナーとは

どのような仕事ですか？

簡単に言えば、みなさんが身近で見られているようなポスターやカタログ、雑誌、チラシ、ホームページ、データベースを使ったシステム構築の製作などをクライアントの意向をくみ取りつつ、それを目にする対象者のことも考え、さらに質の高さを維持しながら自分自身のセンスや技術を駆使し、デザインに表現していく仕事です。

その仕事に関心を持ち始めたのは

なぜですか？

幼い時から絵を描いたり、物を作ったりすることが大好きでしたが、普通に文系の大学を卒業しました。しかし、どうしても小さい頃からの夢が忘れられず、卒業後新たに夜間の専門学校に入り直し2年間みっちりデザイン勉強をしました。

日々精進



一流シェフによる洋菓子講習

ハピネス川西作業所では、クッキー、マドレーヌなどの洋菓子を手作りして販売していますが、今回、県の事業である「きらっと☆オンリーワン」事業で、一流シェフによる指導を受けることができました。全10回の指導内容は、洋菓子作りの基礎、既存のレシピの改良、商品開発、販売戦略等多岐に渡り、分からない部分をマンツーマンで丁寧に教えて頂くことができました。洋菓子作りの奥の深さを知り、お客様のニーズに合った商品作りの難しさを改めて感じました。より高いレベルの商品作りを目指してまいりますので、今後ともハピネス川西作業所の洋菓子をよろしくお願いいたします。

指導風景



宝塚阪急百貨店での販売



新商品の幸せカップケーキ



樋之内 悟 シェフ

フランス、スイス、ドイツ、カナダのホテル、レストラン、菓子店で修業。

1977年カナダ、モントリオール国際料理コンクールパティシエ部門グランプリ受賞。

1993年、「西洋菓子処 マリー・アンジュ」開業。
現在、本店（伊丹市松ヶ丘）のほか、宝塚阪急及び宝塚市中山寺にて3店舗展開中。



今までで一番辛かったことは

どのようなことでしたか？

そうですね。色々ありました。一番印象に残っていることといえば、憧れの神戸での就職を目標に専門学校に通っていた時に起こった、あの阪神大震災で被災したことです。

神戸で一人暮らしをしていたあの日、前日から体調が悪く、病院に行くかどうか迷っていて眠れずに起きていたときあの地震が起こりました。あたりは道がずたずたで、建物もおもちゃのように転がっており助けを求める人も多く、何がどうなっているのか困惑していたのはつきりと覚えています。本当に九死に一生を得たという思いでした。

会社ではアートディレクターとして多くのデザイナーを育てると共に、納期に間に合わせるため睡眠時間を削りながら大小10本くらいの仕事を同時進行させなければならいませんでした。また休日であっても頭の中で仕事をしようとしたため、あまり休んだという感覚はありませんでしたが、好きな仕事だったので続けてこられたのだと思います。

これからもその才能を生かして

何か趣味としてやり続けようと思いますか？

私自身今のところ考えてはいませんが、手前味噌ですが私の娘が昨年小学校2年生（8歳）の時に川西歯科医師会主催の虫歯予防ポスターコンクールに応募したのですが、そこで見事川西市長賞を頂くことができました。娘も私の幼かったころと同様に絵を描くことが大好きなので、この先共通の話題も多くなるのではないかと楽しみにしています。また4歳の息子の才能も密かに期待しながら見守っています。（笑）

～ありがとうございました～

さぎそう園では今年のお正月も恒例となりました北陵地区福祉委員会の皆様から祝い箸をご寄贈いただきました。一つ一つ丁寧に飾られた箸袋はどれも彩り鮮やかで、おめでたい気分をより一層盛り上げ、皆様喜ばれていました。この場をお借りしまして、厚く御礼を申し上げます。



川西北陵高校1年生のみなさま

川西北陵高校1年生の皆様は勤労体験学習の一環としてさぎそう園に来園されました。学校からさぎそう園までの往復は全員徒歩でしたので大変だったと思いますが、みなさんお願いしたエリアをしっかりときれいに清掃して下さいました。本当にありがとうございました。

さぎそう園 イベントコーナー

年齢に関係なく、音楽は私たちに多くの感動や喜びを与えてくれます。今回もさぎそう園に、2団体の方々が来て下さり楽しい一時を過ごさせていただきました。



女性合唱団 りんどう



たんぽぽの会【歌】 なかよし会【踊り】



ハピネス川西ケアハウス

入居希望者受付中



自立した健康で豊かな生活をスタッフ一同心をこめてお手伝いさせていただきます。

【対象】

- 60歳以上の方
- 自炊が困難など一人で生活するのに不安がある方

(ご夫婦の場合はどちらかが60歳未満でも可)

※見学・入居申込みは随時承っております。
お気軽にお電話下さい。

●お問い合わせ● ハピネス川西ケアハウス
TEL 072-755-3317